

里地里山保全・再生の特徴的取組 個票 A (対象地域の概況)

No.110		温海(あつみ)地域		生物地理区分		ミズナラ林	
				地域区分		中山間地	
所在地	都道府県	山形県		地形条件	1.山地	2.山麓部	3.丘陵・台地
	市町村	鶴岡市			4.低地	5.その他	
	集落名称等			環境要素	1.二次林	2.草地	3.水田
					4.畑	5.小川・水路	6.ため池
				7.池沼・湿地	8.社寺林	9.人工林	
				10.その他			

環境要素(対象とする地域に含まれる環境要素)

:面積割合が最大のもの :それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
	特定植物群落、「重要湿地 500」、「名水百選」、「日本の棚田 100 選」、「農村景観百選」、重要文化的景観、重要有形民俗文化財、重要無形民俗文化財(国指定)
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状



写真の説明:火入れ(焼畑)

7月から約1ヶ月下草や杉枝を乾燥させ、8月(真夏)に火入れを行ないます。火入れを行なうことによって、雑草は燃え灰が貴重な肥料になります。8月(真夏)に行われる焼畑の風景。



写真の説明:は種後50日で収穫できるようになった温海カブ

直径10センチくらいのカブを選んで収穫。

No.110		温海(あつみ)地域		取組主体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
所在地	都道府県	山形県			2.団体・企業・学校等
	市町村	鶴岡市			3.行政による支援施策の活用
	集落名称等				4.多様な主体が参加・連携する組織体
				5.その他	

取組主体	主な主体の名称	温海かぶ生産者、温海かぶブランド商品開発推進協議会	
	その他の主体の名称		
目的 :主 :その他	1.農林業を通じた里山や草地の利用(管理)の維持・活性化(伝統的なものも含む)		
	対象・取組内容	<p>持続可能な土地の循環利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水はけのよい杉伐採地は温海かぶ栽培に適していることから、一霞地区では、下草を刈り払いして焼畑した斜面に種をまき、除草と間引きをして、降雪期までに収穫を終える。収穫後の畑には春になるとワラビなどの山菜が芽吹き、これを収穫した後に苗木を植え、再び森林を育成・管理している。 ・長年山林に蓄積された枯葉や枝などに火を入れる事により植物が必要とする窒素含量が数倍に増加するなどの効果があり、林業収益性も高く、植林・伐採・焼畑・赤カブ栽培・植林という一連の伝統的な取組が継承されている。 <p>特別栽培農産物の認証取得の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市は、山形県農業支援センター推奨の「やまがた特別栽培農産物」の認証取得を推進、条件に適合して栽培された温海かぶに認証シールを給付。 ・認証基準は、杉の伐採跡地で、利用が初年度の土地であること、伝統的な焼畑農法で栽培すること、栽培期間中は無肥料、無農薬であることの3点。 ・平成18年度は圃場数10箇所、栽培面積1.8haで栽培され、出荷量は16.4t。事業を進めることで、新たな栽培地や生産量の増加が期待されている。 <p>地域ブランド化に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温海かぶブランド商品開発推進協議会による取組(連携・協働の項参照) ・田川地区では、地域の女性住民が中心となり「田川赤カブ漬グループ」を組織し、赤カブの新芽と茎を利用した浅漬「春摘み菜」の商品開発など、地域ブランド化に向けた取組を行っている。 	
	支援措置		
連携・協働による 取組内容・役割分担等		<p>「温海かぶブランド商品開発推進協議会」による地域ブランド化に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温海かぶブランド商品開発推進協議会は、400年の歴史を持つ焼畑栽培温海かぶを継承していくために、2004(平成16)年、地域の温海かぶ生産者や農協関係者、県庄内総合支庁や市などの担当者らが設立。 ・特別栽培農産物の認証制度を活用した無肥料・無農薬栽培をはじめ、循環型農業としての焼畑栽培の有効性など情報による付加価値向上やマーケティング対策、森林組合が中心となった「栽培適地の情報化」などによる栽培環境の改善、「温海かぶ料理コンテスト」の実施など、多様な主体が連携して温海かぶのブランド化の推進に取り組んでいる。 	
取組の特徴や強調したい点		<ul style="list-style-type: none"> ・林業と赤カブの栽培を組み合わせ、植林・伐採・焼畑・赤カブ栽培・植林という一連の伝統的な取組を継承することにより、循環型の資源利用とモザイク的土地利用を実現している。 ・この取組について積極的に地域ブランド化を図り、持続可能な農林業を推進している。 	

取組の概要	焼畑による循環型農林業と、温海かぶの地域ブランド化に向けた取組	課題グループ 農林業 手法
事例の特性	循環型農林業(焼畑)	
取組の中で他の地域の参考となる点	焼畑による赤カブ栽培という林業と畑作を組み合わせた一連の伝統的な手法を継承することにより、循環型の資源利用とモザイク的土地利用を実現するとともに、400年の歴史を持つ温海かぶの地域ブランド化を図っている。	